シャープエンジニアリング(株)西千葉サービスステーション

ニュンコ様

7/29の太陽光発電システム点検ありがとうございます。また、モジュール交換工事見積検討中とのこと、よろしくお願いいたします。

モジュール交換工事を実施するかどうかについては、費用を負担する予定の妻への説明を考えると、修理の経済的効果が修理の費用を上回れば実施したいと考えています。

設置後9年から毎年5%程度の出力低下があり、モジュール交換工事をしなければ、今後も毎年5%程度出力低下すると推測できます。一方モジュール交換工事を実施した場合は、ほぼ設置時の出力に回復することができると思いますが、モジュール交換判断基準、交換枚数によっては、いずれ毎年5%程度出力低下することが考えられませんか。

まずモジュール21枚全部を交換したケースでは、「太陽電池モジュールの寿命は平均して２０年以上」(<http://www.sharp.co.jp/sunvista/step3/faqs/anser.html?2&3&4&5&6&7>)を信じれば20年間の売電収入、自家消費が修理の経済効果と言えます。また今回のようなケースがまた起きたとすれば11年間の売電収入、自家消費が修理の経済効果と言えます。(11年間寿命が延びた)

既に出力が低下してしまった最低限の枚数のモジュールのみを交換した場合は、交換しなかったモジュールの出力低下は継続してしまうので、3年もすると現状と同程度の出力に落ちてしまいます。保守的に評価すると3年間の売電収入、自家消費が修理の経済効果と言えます。(3年間寿命が延びた)

モジュール交換工事見積の提出の際は、モジュール交換判断基準や何年寿命が延びることが期待できるかなども合わせて説明を希望いたします。

問合せ番号XB720619

守谷市　さくらココ

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　E-mail ANA43888@nifty.com

出力

100%

寿命3年延長

寿命11年延長

モジュール取替工事をしないとき

21枚交換

最低限の枚数のみ交換

20年

10年

30年

設置後年数

50%